

豊平区生徒会サミット

区内の中学校の生徒会代表が一堂に会し、生徒会活動の情報交換を通して、中学生のコミュニケーション能力向上や住みよいまちづくりに対する意識啓発を図る会議です。平成17年から年1回開催しており、区長や町内会連合会会長とも交流しています。

今年8月に開催した第3回サミットでは、区の好きなおところや改善点などについて、集団討論を行いました。あいさつ、ごみ拾い、ごみ分別の意識啓発などの活発な意見が出ました。この内容は10月20日に区民センターで開催された豊平区タウントークで報告されました。



▲8月のサミットの様子

て今年で二十一年目を迎えた恒例行事です。今年にはコンサート最後の、**月寒小学校合唱団と札幌月寒高等学校マンドリン部**の先導により、昔の月寒の情景を歌った「月寒(つきさつぷ)の少年」を会場全体で合唱するなど、非常に盛り上がりました。**札幌月寒高等学校マンドリン部**は、地域からの要請を受けて特別養護老人ホームなどでも演奏を披露しています。



としています。発足した昨年度は、ノルディックスキー世界選手権札幌大会をPRするとともに、冬の外遊びを楽しむ「とよひらおもしろスノーパーク」を開催しました。



ボランティア精神で頑張ります

平岸地区福祉のまち推進センターなどが毎年実施している除雪ボランティアと福祉年賀状の取り組みは、地区内に通学区域を持つ**八条中学校、陵陽中学校、中の島中学校**の生徒が参加しています。除雪は独り暮らしの高齢者宅や歩道などを行うもので、福祉年賀状は独り暮らしの高

札幌大学女子短期大学部経営学科



▲ゼミ生の小林さん

町内会や商店街などが実施するイベントに参加したり、情報誌の発行に協力したりして、地域の活動を研究するゼミがあります。

これまでに、月寒地区の住民向けサービスを提供する「記念日工房」で、地域住民の方に自分たちの住むまちを知っていただく「茶話会」の開催などに携わりました。

地域の方の話を聞いて、自分の土地を愛していることに感動しました。住みよいまちづくりのためには、一人一人が自分のことばかりではなくもつと周りのことを考えていけばよいと思います。

区役所が主催する親子の交流行事「げんき夏まつり」では、各学校を通じてボランティアを募集しており、今年も**八条中学校、陵陽中学校、あやめ野中学校、北海道尚志学園札幌高等学校、札幌第一高等学校**などから多数の生徒が参加しました。



北海道尚志学園ボランティア同好会

7人の部員が1週間交代で、週3回ごみ出しを手伝っています。お宅に何度も伺ううちに会話が増えてきて楽しいです。機会があればさまざまなボランティアを経験して、将来は社会に役立っている職業に就きたいと思います。



▲部員の西山さん

終わりに

少子高齢社会を迎え、地域の活力の低下が懸念される中、学生が地域活動に参加することは非常に心強いです。学校、地域、行政が一体となつてまちを活性化していきましょう。

ほかには、近隣宅のごみ出しを手伝っている**北海道尚志学園高等学校**ボランティア同好会や、公園清掃・花植えなどを行っている**札幌大学経済学部**のボランティア実習があります。実習に参加する学生は、高校生時代にボランティア経験のある人が増えてきたそうです。



(注)ここで掲載したのは活動の一例です。紹介していない学校を含め、ほかにも多くの活動があります。

